

# 新型コロナウイルス感染症 感染対策セミナー

IHF  
公益財団法人  
国際医療財団



緊急  
開催

歯科・医科・介護・福祉従事者対象ですがどなたでも参加できます

2022年8月25日（木）18:00～20:00

Zoomウェビナーによるオンライン開催 参加費3,000円（修了証発行）

## COVID-19への対応

-BA.5株感染の特徴と有効な対策およびその展望-

特別講演 19:15～19:40  
東北大学大学院歯学研究科

教授 小坂 健先生

厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策本部クラスター班  
厚生労働省社会保障審議会専門委員



司会・総括 19:40～

総合南東北病院

歯科口腔外科  
一般社団法人国際歯科医療安全機構  
理事長 瀬戸 皖一



講演1 18:05～

口腔・顎顔面領域における  
COVID-19の感染対策

南東北福島病院 口腔外科  
高橋 哲先生



講演2 18:30～

口腔からの感染メカニズム  
と感染対策について

大阪大学大学院歯学研究科  
高次脳口腔機能学講座  
教授 阪井 丘芳先生



講演3 18:55～

BA.5株感染拡大予防策と  
して洗口は有用か？

認定NPO法人BMSA  
バイオメディカルサイエンス研究会  
理事長 瀬島 俊介先生



※歯初診・外来環にかかる研修ではございません

主催：公益財団法人国際医療財団 共催：一般社団法人歯科医療安全機構

IHF 公益財団法人  
国際医療財団

お申込みはホームページから受け付けております

<https://ihf.asia>

〒143-0016

東京都大田区大森北1丁目10-14 Luz大森8F

TEL. 03-6459-4676

FAX. 03-6459-4677



# 新型コロナウイルス感染症に洗口は有効か？

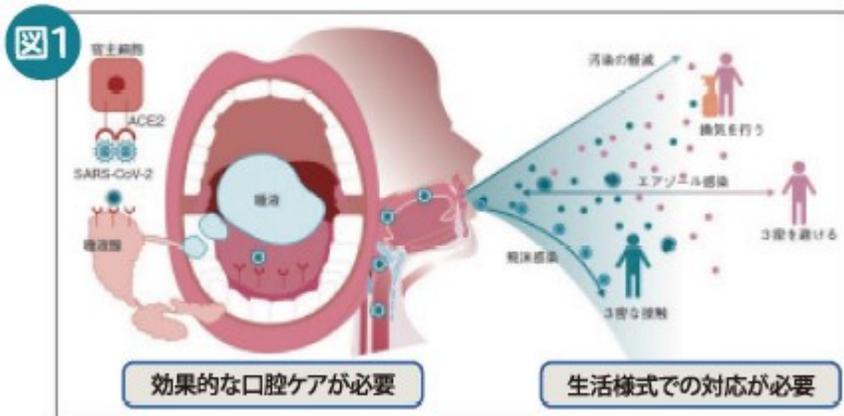
厚生労働省「新しい生活様式」の実践例  
(2) 日常生活を営む上での基本的な生活様式

【疑問】  
うがいは含まれない



感染は口から始まる（大阪大学 阪井先生が発表）

口腔・咽頭粘膜はSARS-CoVの侵入経路になり、  
唾液腺はその貯留庫になる可能性が高い



唾液の潜在的な診断値とCOVID-19感染拡大の評価について

阪井 丘芳 COVID-19と唾液腺～重症感染を防ぐための新たな口腔ケア～抗加齢医学会誌2020

講演2 18:30～  
口腔からの感染  
メカニズムと感  
染対策について  
大阪大学 教授  
阪井 丘芳先生



## 2022年7月19日のニュース

### 専門家がコロナ対策にマウスウォッシュをNPB、Jリーグに推奨

日本野球機構（NPB）は19日、サッカーのJリーグと連携した「新型コロナウイルス対策連絡会議」を開催した。専門家チームの座長を務める賀来満夫・東北医科薬科大特任教授は「新型コロナウイルスは口腔内でウイルスが増えて、それが会話、せき、くしゃみ、飛沫でうつっていくのがわかっています。手についたウイルスで広がっていくのではなく、会話が重要になってくる」と説明。「口腔内のウイルスをどれだけ減らしていくのか。ゼロになることはないが、マウスウォッシュは効果があるのでないか。ある程度、コロナを抑制できる効果も認められてきている」と推奨した。 <https://news.yahoo.co.jp/articles/5505e31eb10b75dbd98b84fb32a9f1179787b520>

講演3 18:55～

BA.5 株感染拡大予防策として洗口は有用か？

認定NPO法人バイオメディカルサイエンス研究会 理事長 瀬島 俊介先生



感染予防対策について再確認していきます